

## ダイズの収量向上を目的とした吸実性カメムシ類の防除

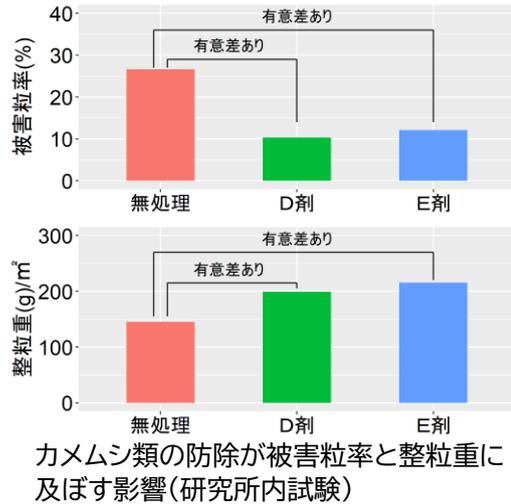
利用対象：生産者、指導者

ダイズの吸実性カメムシ類は、子実被害だけではなく、収量を低下させる要因の一つとされています。本研究ではカメムシ類に有効な防除時期、回数、防除による収量改善効果を明らかにしました。

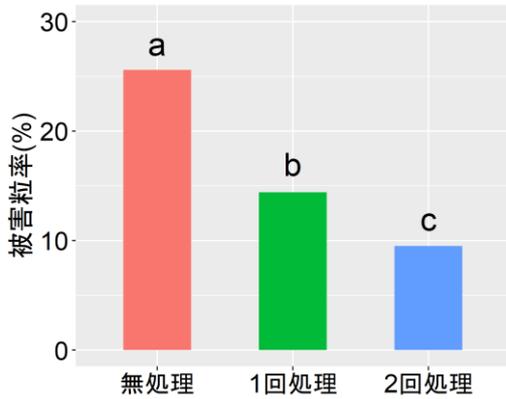
殺虫剤によるカメムシ類防除により、子実被害を抑制することで、収量を改善させる効果も得られます。



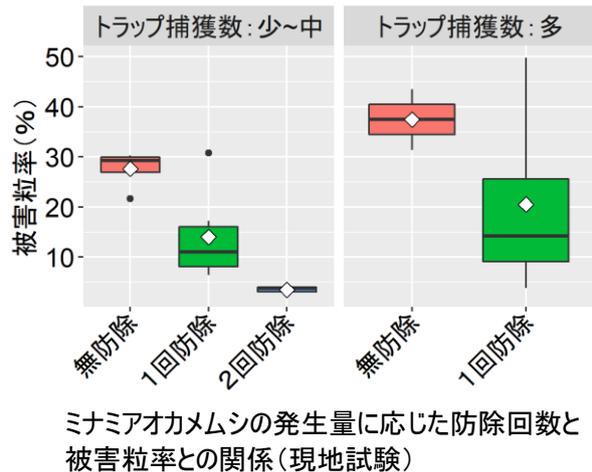
ミナミアオカメムシ イチモンジカメムシ ホソヘリカメムシ  
ダイズの吸実性カメムシ類の主要3種



開花 20 日後と 40 日後の 2 回防除により、吸実性カメムシ類による被害粒率をおおむね 10%以内に抑制できます。



開花 30 日後の 1 回散布でも、被害粒率を 20%以内に抑制する効果が期待できますが、多発時には十分な効果は得られません。



お問い合わせ先

基盤技術研究室 農産物安全安心研究課 西野 実 電話 0598-42-6360  
中央農業改良普及センター 磯山繁幸 電話 0598-42-6323

参考になる資料

<http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm>